

屋久島電工株式会社

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

2025年9月30日

当社概要

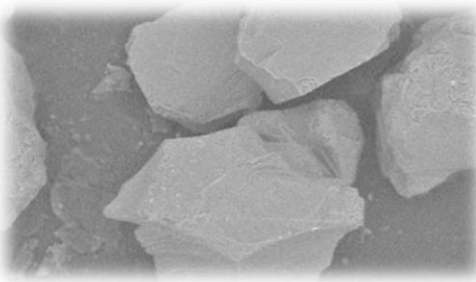
- ・ 屋久島電工株式会社は、国内唯一の炭化ケイ素製造事業、発電事業を展開しています
- ・ 「『世界自然遺産 屋久島』とのよりよい共存・共栄を希求し、クリーンなエネルギーにより持続可能な産業・技術および地域社会の発展に貢献する会社になる」という経営理念のもと、地球環境の維持と地域社会の持続的発展に貢献しています

当社概要

社名	屋久島電工株式会社
所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島
設立	1952年6月
資本金	20億円
事業内容	炭化ケイ素製造事業、発電事業
売上高	6,322百万円（2025年3月期）
社員数	136名（2025年3月期）
グループ	太平洋セメント株式会社 （当社グループは太平洋セメントの持分法適用会社） ヤクデン商事株式会社（関連会社）



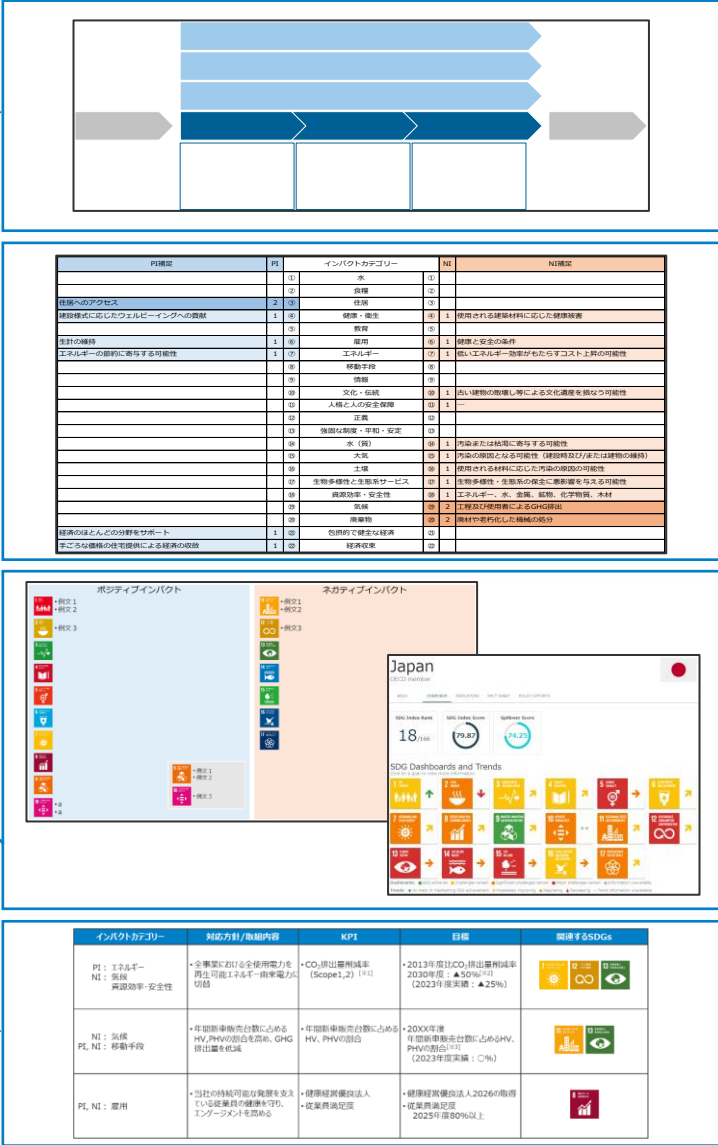
屋久島電工株式会社



インパクト分析フロー

- 下記のフローで当社グループのインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました

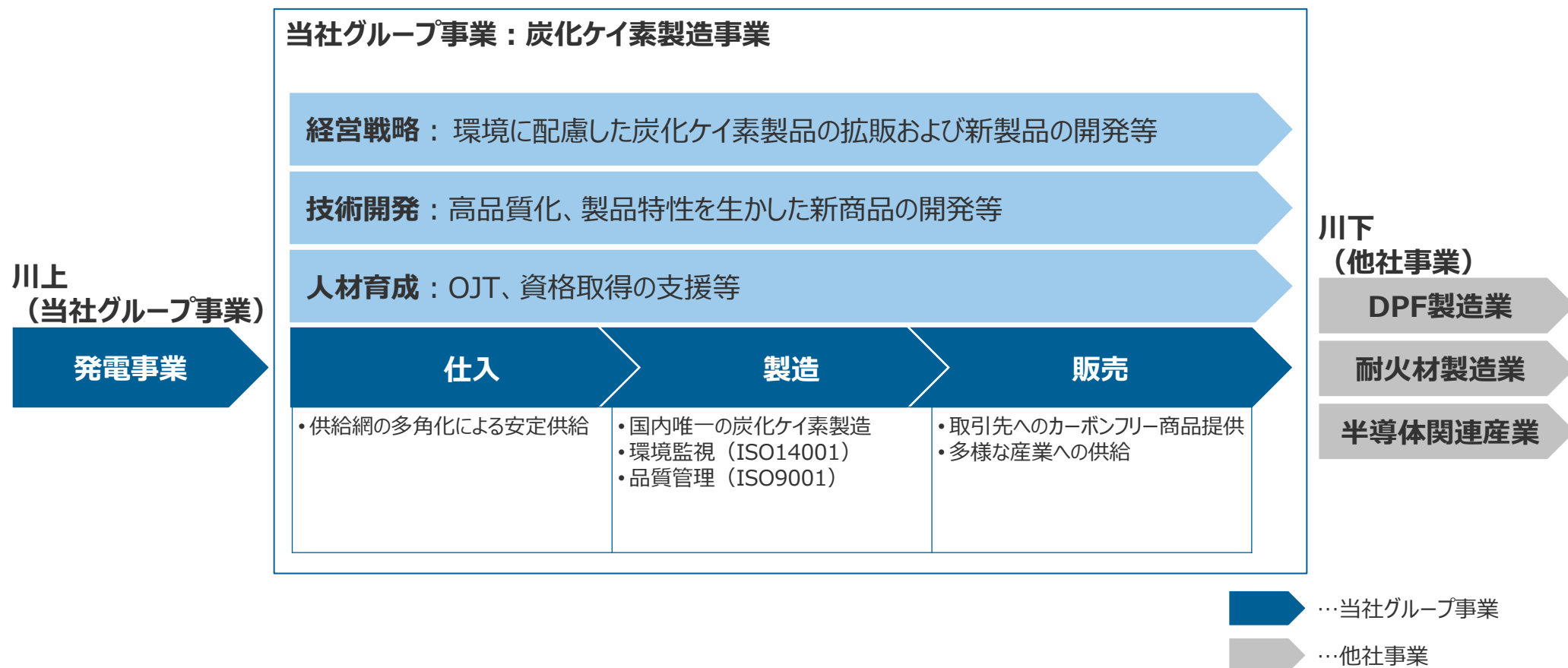
工程		内容
①	バリューチェーン分析	当該事業が経済的価値を創出するに至るプロセス（製品・サービスの構想、製造、提供、消費等）を特定します。
②	インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的に想定されるポジティブ／ネガティブインパクトを確認します。
③	インパクトの特定	上記①②及びヒアリング結果等から当該事業のインパクトを特定の上、SDGs等社会的な要請との整合を確認します。
④	KPI・目標の設定	ポジティブインパクトが増大する、あるいはネガティブインパクトが抑制されるようなKPIと目標を設定します。



バリューチェーン分析（当社グループ事業：炭化ケイ素製造事業、発電事業）

- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、炭化ケイ素製造事業、発電事業をバリューチェーン*分析の対象としました
- 発電量の7割が炭化ケイ素製造事業に供給されていることから、発電事業は当該事業の川上として整理しています
- 当該事業の売上のうち大部分を占める自動車部品及び付属品製造業（DPF製造業）、耐火性製品製造業（耐火材製造業）、半導体関連産業を川下として整理しています

*当社グループおよび川上・川下の事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ



インパクトマッピング（川上（当社グループ事業）：発電事業）

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川上（当社グループ事業）：発電事業

⇒ ISIC：3511 水力発電、送電、配電

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
		⑥	雇用	⑥	
エネルギーへのアクセス	2	⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	2 文化的遺跡に干渉する可能性/人々の移転が必要
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
大気汚染削減に貢献	2	⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	1 生態系に影響を与える可能性
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1 水の集約
排出削減への貢献	2	⑲	気候	⑲	
		⑳	廃棄物	㉑	
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
電気は生活水準を向上させる	2	㉒	経済収束	㉒	

（凡例）PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (当社グループ事業：炭化ケイ素製造事業)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：炭化ケイ素製造事業
⇒ ISIC：2420 第一次貴金属・その他非鉄金属製造業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
IT製品・サービスに貢献	1	⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染につながる可能性
		⑮	大気	⑮	1 汚染につながる可能性
		⑯	土壌	⑯	2 土壌汚染
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	2 エネルギー、水、金属
		⑲	気候	⑲	1 GHG排出量
		⑳	廃棄物	㉑	1 廃棄物
製造業は健全な経済の一部	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (川下①：DPF製造業)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川下①：DPF製造業

⇒ ISIC：2930 自動車部品及び付属品製造業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	2 —
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 安全衛生条件
		⑦	エネルギー	⑦	
モビリティへのアクセスに貢献	1	⑧	移動手段	⑧	1 悪影響の少ない他の交通手段の利用減少につながる
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	1 —
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染につながる可能性
		⑮	大気	⑮	1 汚染につながる可能性
		⑯	土壌	⑯	1 汚染につながる可能性
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	2 エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
		⑲	気候	⑲	2 GHG排出量
		⑳	廃棄物	⑳	1 加工、老朽化した機械、エンドユーザーからの廃棄物
健全な経済を支える製造業	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
人の移動は経済の収束に貢献する	1	㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (川下②：耐火材製造業)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川下②：耐火材製造業
⇒ **ISIC：2391 耐火性製品製造業**

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
住宅に貢献	1	③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染につながる可能性
		⑮	大気	⑮	1 汚染につながる可能性
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー、水
		⑲	気候	⑲	1 GHG排出量
		⑳	廃棄物	㉑	1 廃棄物
製造業は健全な経済の一部	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (川下③：半導体関連産業)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川下③：半導体関連産業

⇒ ISIC：2829 その他の特殊産業用機械製造業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 安全衛生条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染につながる可能性
		⑮	大気	⑮	1 汚染につながる可能性
		⑯	土壌	⑯	1 汚染につながる可能性
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
		⑲	気候	⑲	1 GHG排出量
		⑳	廃棄物	㉑	1 加工、老朽化した機械、エンドユーザーからの廃棄物
健全な経済を支える製造業	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (一覧)

インパクトカテゴリー		当社グループ事業				川下					
		発電事業		炭化ケイ素製造事業		DPF製造業		耐火材製造業		半導体関連産業	
		PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	①	水									
	②	食糧									
	③	住居						1			
	④	健康・衛生					2				
	⑤	教育									
	⑥	雇用		1	1	1	1	1	1	1	1
	⑦	エネルギー	2								
	⑧	移動手段				1	1				
	⑨	情報		1							
	⑩	文化・伝統		2							
	⑪	人格と人の安全保障					1				
	⑫	正義									
	⑬	強固な制度・平和・安定									
環境 質（物理的・化学的構成・性質） の有効利用	⑭	水（質）			1		1		1		1
	⑮	大気	2		1		1		1		1
	⑯	土壌			2		1				1
	⑰	生物多様性と生態系サービス		1							
	⑱	資源効率・安全性		1	2		2		1		1
	⑲	気候	2		1		2		1		1
	⑳	廃棄物			1		1		1		1
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑	包摂的で健全な経済		1		1		1		1	
	㉒	経済収束	2			1					

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

SDGsとの関連性（川上（当社グループ事業）：発電事業）

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

川上（当社グループ事業）：発電事業

⇒ **ISIC：3511 水力発電、送電、配電**

ポジティブインパクト



- 電気は生活水準を向上させる



- 大気汚染削減に貢献



- エネルギーへのアクセス



- 排出削減への貢献



- 電気は生活水準を向上させる

ネガティブインパクト



- 水の集約



- 文化的遺跡に干渉する可能性/人々の移転が必要



- 水の集約



- 生態系に影響を与える可能性



- 生態系に影響を与える可能性

SDGsとの関連性（当社グループ事業：炭化ケイ素製造事業）

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：炭化ケイ素製造事業

⇒ ISIC：2420 第一次貴金属・その他非鉄金属製造業

ポジティブインパクト



- ・製造業は健全な経済の一部



- ・生計の維持
- ・製造業は健全な経済の一部



- ・IT製品・サービスに貢献

ネガティブインパクト



- ・汚染につながる可能性



- ・汚染につながる可能性



- ・エネルギー、水、金属



- ・労働条件



- ・エネルギー、水、金属
- ・廃棄物



- ・GHG排出量



- ・土壌汚染

SDGsとの関連性 (川下①：DPF製造業)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

川下①：DPF製造業

⇒ ISIC：2930 自動車部品及び付属品製造業

ポジティブインパクト



- 人の移動は経済の収束に貢献する



- 健全な経済を支える製造業



- 生計の維持
- 健全な経済を支える製造業



- モビリティへのアクセスに貢献



- 人の移動は経済の収束に貢献する

ネガティブインパクト



- 汚染につながる可能性



- 汚染につながる可能性



- エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品



- 安全衛生条件



-



- 悪影響の少ない他の交通手段の利用減少につながる



- エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
- 加工、老朽化した機械、エンドユーザーからの廃棄物



- GHG排出量



- 汚染につながる可能性

SDGsとの関連性 (川下②：耐火材製造業)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

川下②：耐火材製造業

⇒ ISIC：2391 耐火性製品製造業

ポジティブインパクト



- ・製造業は健全な経済の一部



- ・生計の維持
- ・製造業は健全な経済の一部



- ・住宅に貢献

ネガティブインパクト



- ・汚染につながる可能性



- ・汚染につながる可能性



- ・エネルギー、水



- ・労働条件



- ・エネルギー、水
- ・廃棄物



- ・GHG排出量

SDGsとの関連性 (川下③：半導体関連産業)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

川下③：半導体関連産業

⇒ ISIC：2829 その他の特殊産業用機械製造業

ポジティブインパクト



- 健全な経済を支える製造業



- 生計の維持
- 健全な経済を支える製造業

ネガティブインパクト



- 汚染につながる可能性



- 汚染につながる可能性



- エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品



- 安全衛生条件



- エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
- 加工、老朽化した機械、エンドユーザーからの廃棄物



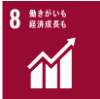
- GHG排出量



- 汚染につながる可能性

KPI・目標の設定について

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定める環境方針等との整合性を踏まえ、KPI・目標を以下のように選択し、設定しました
- 目標に対する実績の進捗、新たな目標値の設定については年次モニタリングで確認します

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標	関連するSDGs
NI: 大気 資源効率・安全性	• 地球環境と企業活動との 共栄を目指した経営を行う	• 1級品インゴット収率改善による 化学物質排出量（サルファー）	• 2025年度目標：4.0Nm ³ /t削減 (2024年度実績：4.3Nm ³ /t削減)	  
PI, NI: 雇用	• 働きがいのある職場・豊かな 人づくりをめざす	• 女性社員の採用比率	• 2025年4月～2028年3月までに 新卒・中途採用の女性の採用比率を 30%以上にする (2024年度実績：20%)	

(凡例) PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスをを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。